

2018  
6月

# Sasaiレポ

発行/佐佐井株式会社  
北九州市小倉南区上曾根新町 2-25  
☎093-472-1335  
FAX 093-472-1790  
http://www.bf331.com

## 外食8割、26社が増収

### 34社の3月既存店

日経MJがまとめた主な外食 34 社の 3 月の売上高は、既存店ベースで 8 割にあたる 26 社が増収だった。ファミリーレストランやファストフードは客数は前年並みだったが、客単価を伸ばした。焼き肉やすしなど高価格帯も好調だ。

8%の増収となったロイヤルホストは、オーストラリア産ヒレ肉などを使った期間限定メニューを 2 月から展開。セブン&アイ・フードシステムズが運営する「デニーズ」もイチゴの高級ブランド「博多あまおう」を使用したデザートを投入した。ファストフードではマクドナルドが 10%の増収で、28 カ月連続で前年実績を上回った。

外食では人手不足が深刻で、人件費が高騰している。また一部の原材料価格も上昇傾向にあり、コストは上がっている。「消費者の節約志向は根強い」（ドトール・日レスホールディングスの星野正則社長）なかで、客単価を上げながら来店客数をどう維持するかが、18年度の焦点となりそうだ。

—日経MJ2018.4.23—



## ■タイで製粉工場取得

### 一日清製粉、生産能力2.3倍に

日清製粉はタイで小麦粉などの製造・販売を手掛けるパシフィック製粉（バンコク）から、製粉工場を約 18 億円で取得した。日清製粉のタイでの小麦粉の生産能力は原料小麦ベースで 1 日当たり 630 トンと現在の 2.3 倍となる。パンや菓子向けなどの需要が増えているタイで供給体制を強化し、さらに販売を伸ばしていきたい考えだ。

日清製粉のタイの子会社である日清S T C製粉がチョンブリ県にあるパシフィック製粉の工場を取得した。タイではサムットプラカーン県にある既存工場との 2 工場体制になる。生産した小麦粉は主にタイの外食チェーンや製麺会社などに販売する。

—日経MJ2018.3.30—

## 100円ショップ出店攻勢

### 大手4社 18年度500店

100円ショップの出店拡大が続く。ダイソーを運営する最大手、大創産業（広島県東広島市）など大手 4 社の 2018 年度の新規出店は過去最高水準の 50 店超となる見通し。

2 位のセリア、3 位キャンドゥ、4 位ワッツを含めた 18 年度末の国内店舗数は 7000 店を超える見込みで、過去 5 年で 2 割増える。

総合スーパー（GMS）など商業施設への出店が増えている。GMSはネット通販の影響を受ける衣料品店などに代わり、幅広い品ぞろえで集客力が高い 100円ショップにテナントを入れ替えている。ネット通販の送料引き上げも追い風だ。大創産業は 150 店超を出店する見込み。現在 3150 店で、店舗シェアは 5 割近い。他社の 2 倍を超える 7 万点の品ぞろえで若者から高齢者まで広く消費者を取り込む。100円ショップは 1990 年代末からのデフレ経済下で店舗網を広げてきた。日経MJの専門店調査では 100円ショップ大手 4 社の 2016 年度売上高は 15 年度に比べ 6.8% 多く、小売りの他の業態より伸びた。

—日経MJ2018.5.19—

## コンビニ・スーパー 一体店

### ◆ローソン、中国地方初

ローソンはコンビニエンスストアと食品スーパーを組み合わせた店舗を広島市に開業した。広島県を地盤にスーパーを展開するフレスタ（広島市）と共同で出店。スーパーとの一体型店舗は 2 店目で、中国地方では初めてとなる。ローソンの商品やサービスに精肉や鮮魚といったスーパーが強みを持つ生鮮品を組み合わせた。

「ローソン フレスタ藤ノ木店」（広島市）を開いた。ローソンの商品 3500 品とフレスタの 260 品を扱う。フレスタはコンビニでは扱いの少ない生鮮 200 品と冷凍食品 60 品をそろえる。店内の通路幅はローソンの標準店の 1.2 倍にして、ゆったりと買い物ができるという。店内には購入した商品を手で食べられる「イートイン」を 46 席設けた。このほか沖縄県のサンエーや高知県のサニーマートなどと組んで地元の食材を使った商品の共同開発も手がける。

—日経MJ2018.4.30—